

京都府改訂版レッドリスト 2022（シダ植物・種子植物）

令和 5 年 2 月 28 日
府 民 環 境 部
自 然 環 境 保 全 課

京都府では、府内における絶滅のおそれのある野生生物をとりまく状況の変化をふまえ、分野ごとに順次調査を実施し、レッドリスト※の改訂を進めています。

このたび、「種子植物」及び「シダ植物」について、以下のとおりレッドリストの改訂を行いました。

※レッドリスト・・・絶滅のおそれのある野生生物種をとりまとめたリスト

1 改訂の概要

カテゴリー	種子植物			シダ植物		
	今回 (2022)	前回 (2015)	増減等	今回 (2022)	前回 (2015)	増減等
絶滅種 (府内で絶滅した種)	46 種	45 種	ランクアップ	6 種	5 種	ランクアップ
絶滅寸前種 (絶滅の危機に瀕してる種)	252 種	222 種	48 種 ランクダウン	42 種	36 種	11 種 ランクダウン
絶滅危惧種 (絶滅の危険が増大している種)	236 種	224 種	10 種 新規	32 種	33 種	3 種 新規
準絶滅危惧種 (存続基盤が脆弱な種)	176 種	182 種	42 種 リスト外	20 種	16 種	8 種 リスト外
要注目種 (動向を注目、情報不足な種)	78 種	75 種	6 種	26 種	32 種	4 種
合計	788 種	748 種		126 種	122 種	

2 特徴

- 府内での新規記載種として種子植物は 23 種、シダ植物は 3 種が見つかった。
特にシダ植物では南方系の希少種が発見されたが、生育場所が特殊な環境であり、必ずしも温暖化の影響とはいえない。
- これまで絶滅したと考えられていた種の再発見もあった。
- 各地でシカによる影響が顕著に見られた。シカの食害によってランクアップとなってしまう種がいる一方で、シカの嗜好植物種は増加しランクダウンした。

<参考> 今回の改訂で注目される種

(1) 種子植物

ユキミバナ (キツネノマゴ科)

[今回] 絶滅危惧種 (新規記載)

これまで福井県、滋賀県でのみ確認されていたが、新たに府内で発見された。



ヤマホオズキ (ナス科)

[前回] 絶滅危惧種 → [今回] 絶滅寸前種

生育地が限られ、個体数もきわめて少ない。シカ食害が著しくランクアップ。



クリンソウ (サクラソウ科)

[前回] 準絶滅危惧種 → [今回] 要注目種

シカの不嗜好性植物であるため、増加している。



(2) シダ植物

オクタマシダ (チャセンシダ科)

[前回] 絶滅種 → [今回] 絶滅寸前種

全国的に希少な種で、京都府では絶滅種とされていたもの。70年ぶりに現存が確認された。



シマイヌワラビ (メシダ科)

[今回] 絶滅寸前種 (新規記載)

近畿地方では和歌山県以外では見つかっていなかった南方系の種であったが、京都府で初確認された。



オオバショリマ (ヒメシダ科)

[前回] 要注目種 → [今回] 絶滅危惧種

シカ食害の影響により激減した。



京都府改訂版レッドリスト2022

凡例

- △：アップリスト種
- ▽：ダウンリスト種
- ：新規掲載種
- ☆：和名変更など

<シダ植物 126種>

シダ植物については、今回の改訂より、ランクが上がった種が11種、ランクが下がった種が3種、新規に掲載された種が8種、リスト外に移行された種が4種であった。

絶滅種（6種）

△デンジソウ、△テバコワラビ、イヨクジャク、ミドリカナワラビ、オオクボシダ、イワオモダカ

絶滅寸前種（42種）

ヤチスギラン、エゾノヒメクラマゴケ、ミズニラ、ミズニラモドキ、エゾフユノハナワラビ、ナガホノナツノハナワラビ、モトマチハナワラビ、トネハナヤスリ、ハマハナヤスリ、ヒロハハナヤスリ、マツバラシダ、△コケシノブ、アカウキクサ、オオアカウキクサ、サンショウモ、ヒメムカゴシダ、○タキミシダ、▽オクタマシダ、クモノスシダ、アオガネシダ、ホウビシダ、○イワイヌワラビ近似品、△ミヤコイヌワラビ、トゲカラクサイヌワラビ、○シマイヌワラビ、ハコネシケチシダ、コウライイヌワラビモドキ、ムクゲシケシダ、ミドリワラビ、イワヤシダ、ヒカゲワラビ、コガネシダ、フクロシダ、○ツクシイワヘゴ、サクライカグマ、ヌカイタチシダモドキ、△ワカナシダ、ヌカイタチシダマガイ、オニイノデ、クラガリシダ、アオネカズラ、イワヤナギシダ

絶滅危惧種（32種）

スギラン、マンネンスギ（ウチワマンネンスギ）、ヒメクラマゴケ、ヒモカズラ、イワヒバ、アカハナワラビ、△ナツノハナワラビ、コヒロハハナヤスリ、コハナヤスリ、キヨスミコケシノブ、△タカサゴキジノオ、オウレンシダ、ハコネシダ、ナカミシラン、アマクサシダ、クルマシダ、△オオバショリマ、ヤクイヌワラビ近似品、ナガエイヌワラビ、フモトシケシダ、ウスバミヤマノコギリシダ、シマシロヤマシダ、イワデンダ、ヒロハヤブソテツ、ミヤコヤブソテツ、タカサゴシダ、ヌカイタチシダ、キヨズミオオクジャク、イワイタチシダ、アツギノヌカイタチシダマガイ、ホテイシダ、ビロードシダ

準絶滅危惧種（20種）

ヤシャゼンマイ、△ヤマドリゼンマイ、マツザカシダ、△シモツケヌリトラノオ、カミガモシダ、▽トキワトラノオ、イヌチャセンシダ、○ツクシヤワラシダ、イワハリガネワラビ、ルリデライヌワラビ、オオヒメワラビモドキ、ミヤマシダ、

○ヌリワラビ、ミヤコカナワラビ、○オオマルバベニシダ（エンシュウベニシダ）、
タニヘゴ、△ツルデンダ、ヤノネシダ、ヒメサジラン、カラクサシダ

要注目種（26種）

オニトウゲシバ、タチクラマゴケ、ホクリクハイホラゴケ、ヒメハイホラゴケ、
○ヤマソテツ、イシカグマ、クジャクフモトシダ（フモトシダ×イシカグマ）、
▽ナチシダ、アオハリガネワラビ（シロジクハリガネワラビ）、トガリバイヌワラビ、
サキモリヌワラビ、ナチシケシダ、タンゴワラビ、オサシダ、コモチシダ、
ホソバナライシダ、コバノカナワラビ、ヤブソテツモドキ、ハチジョウベニシダ、
ナチクジャク、シラネワラビ、ナガバノイタチシダ、ハコネオオクジャク、イノウエシダ、
ヒトツバジュウモンジシダ、ケイリュウウラボシ

※リスト外に移行した種（4種）

ヒメミズワラビ、オニヒカゲワラビ、カンムリベニシダ、ミヤマノキシノブ

<種子植物 788種>

種子植物については、今回の改訂より、ランクが上がった種が48種、ランクが下がった種が10種、新規に掲載された種が42種、リスト外に移行された種が6種であった。

絶滅種（46種）

マイヅルテンナンショウ、ユキモチソウ、マルバオモダカ、ホソバナコバイモ、
ヤマユリ（エイザンユリ）、アツモリソウ、ヒメノカンゾウ、ヤマトホシクサ、
アオヒエスゲ、シオクグ、オニノガリヤス、ウラハグサ（フウチソウ）、ムカゴツヅリ、
エゾエンゴサク本州型（オトメエンゴサク）、レイジンソウ、ヤマオダマキ、
バイカモ（ウメバチモ）、エゾフウロ、ヒメノハギ、マツバニンジン、
オオマルバコンロンソウ、ニオイタデ、ムジナモ、イソホウキギ（イソボウキ）、
ハママツナ、シロバナウンゼン（シロバナウンゼンツツジ）、エゾノヨツバムグラ、
シロバナイナモリソウ、シタキソウ、△ムラサキ、カミガモソウ、ヒメトラノオ、
オウギカズラ、キュウシュウコゴメグサ（チュウゴクコゴメグサ）、コタヌキモ、
タカサゴソウ、○オオニガナ、オオダイトウヒレン、タンバヤブレガサ、オナモミ、
カンボク、マツムシソウ、ホタルサイコ、△ミシマサイコ、カサモチ、
ヌマゼリ（サワゼリ）

絶滅寸前種（252種）

オニバス、オグラコウホネ、マルバウマノスズクサ、○ウスバサイシン、

ヤマトテンナンショウ、アオテンナンショウ、ヒメザゼンソウ、イワショウブ、
セトヤナギスブタ、マルミスブタ、スブタ、ヒロハトリゲモ (サガミトリゲモ)、
イバラモ、△トリゲモ、オオトリゲモ、ホロムイソウ、エビアマモ、イトモ、
コバノヒルムシロ、▽オオミズヒキモ (カモガワモ)、サクライソウ、
ヒナノシヤクジョウ、シロシヤクジョウ、ホンゴウソウ、ウエマツソウ、ヒメユリ、
ヒナラン、シラン、キエビネ、サルメンエビネ、○ヒメノヤガラ、マヤラン、
クマガイソウ、マツラン (ベニカヤラン)、シロテンマ (ヒメテンマ)、ベニシュスラン、
ツリシュスラン、ノビネチドリ、△ミズトンボ、ムカゴソウ、ホクリクムヨウラン、
○ウスキムヨウラン、ムヨウラン、○エンシュウムヨウラン、クロムヨウラン、
○フガクスズムシソウ、クモイジガバチ、フウラン、ヒメフタバラン、ムカゴサイシン、
ヨウラクラン、サギソウ、ミズチドリ、ツレサギソウ、ヤマサギソウ、オオヤマサギソウ、
ヤマトキソウ、ヒナチドリ、ウチョウラン、ナゴラン、クモラン、
ハクウンラン (イセラン)、△ヒオウギ、ヒメシャガ、ステゴビル、ミズアオイ、
ナガエミクリ、ヒメミクリ、クロイヌノヒゲ、オオホシクサ、ヒメコウガイゼキショウ、
○フサヒメコウガイゼキショウ、ヒロハノコウガイゼキショウ、タマコウガイゼキショウ、
△コウキヤガラ (エゾウキヤガラ)、イトテンツキ、エナシヒゴクサ、タマツリスゲ、
ヒナスゲ、ウマスゲ、ヤチカワズスゲ、ヒメスゲ、タヌキラン、マメスゲ、
オオタマツリスゲ (ヒロハノタマツリスゲ、ナガエノムギスゲ)、オニナルコスゲ、
イガガヤツリ、ヒメアオガヤツリ、ミズハナビ (ヒメガヤツリ)、クロハリイ、
ヌマハリイ (オオヌマハリイ)、アゼテンツキ、トネテンツキ、△ミカヅキグサ、
トラノハナヒゲ、イトイヌノハナヒゲ、コイヌノハナヒゲ、△イガクサ、
ハタベカンガレイ、△ヒメカンガレイ、ツクシカンガレイ、△シズイ、ノグサ、
ミカワシンジュガヤ、コシンジュガヤ、ケシンジュガヤ、マネキシシンジュガヤ、
▽コメススキ、コウヤザサ、ヒナザサ、ミズタカモジ、ヌマカゼクサ、コゴメカゼクサ、
ウンヌケモドキ、カモノハシ、△エゾノサヤヌカグサ、コシノネズミガヤ、
△ヒゲシバ、ヤマブキソウ、ルイヨウショウマ、
ミチノクフクジュソウ (広義のフクジュソウ)、エンコウソウ (リュウキンカ)、
カザグルマ、アズマシロカネソウ、サンインシロカネソウ (ソコベニシロカネソウ)、
キバナサバノオ、オキナグサ、オトコゼリ、ヒキノカサ、シギンカラマツ、
マンセンカラマツ、モミジカラマツ、ベニバナヤマシヤクヤク、
ヤシャビシヤク (テンノウメ)、アオベンケイ (アオベンケイソウ)、ミヤママンネングサ、
アズマツメクサ、タコノアシ、オグラノフサモ、フサモ、ウドカズラ、ミズキカシグサ、
ヒメビシ、ハマビシ、モメンヅル、イタチササゲ、レンリソウ、イヌハギ、
ツルフジバカマ、ノハラクサフジ、ヨツバハギ、オオバクサフジ、ヒナノカンザシ、
ミツモトソウ、イワテヤマナシ (ミチノクナシ)、
△コバナワレモコウ (コバナノワレモコウ)、タンゴグミ、△カツラギグミ、

モミジカラスウリ、アサダ（ミノカブリ）、イワウメヅル、トモエソウ、アゼオトギリ、オオバキスミレ、エイザンスミレ、マルバスマレ、ケマルバスマレ、ツルタチツボスマレ、ラセンソウ、オオバヤドリギ、ヒメタデ（アオヒメタデ）、ホソバイヌタデ、サイコクヌカボ、ヌカボタデ、マダイオウ、キブネダイオウ、イシモチソウ、コモウセンゴケ、トウカイコモウセンゴケ、ワチガイソウ、エゾハマツメクサ、ヤナギイノコヅチ、ホソバハマアカザ、カラタチバナ、クロミノニシゴリ（ニシゴリ）、ベニバナイチヤクソウ、マルバノイチヤクソウ（オオジンヨウイチヤクソウ）、△アラゲナツハゼ、イナモリソウ、ハルリンドウ、△エゾリンドウ、アイナエ、チョウジソウ、フナバラソウ（ロクエンソウ）、△サワルリソウ、ハマヒルガオ、△アオホオズキ、△ヤマホオズキ、オオマルバノホロシ、シシンラン、イワギリソウ、マルバノサワトウガラシ、オオアブノメ、ヒシモドキ、サツキヒナノウスツボ、コムラサキ、タニジャコウソウ、キセワタ、ヤマジソ、ミズネコノオ、ミズトラノオ、キバナアキギリ、ヤマタツナミソウ、△ゴマクサ、シオガマギク、トモエシオガマ、フサタヌキモ、イトタヌキモ（ミカワタヌキモ）、ヒメタヌキモ、ムラサキミミカキグサ、タヌキモ、キキョウ、ガガブタ、ノコギリソウ（広義）、ヌマダイコン、○テイショウソウ、カワラハハコ、チョウジギク、ヒメヨモギ、ヒメシオン、△ヤマジノギク（アレノノギク）、△オケラ、△モリアザミ（ゴボウアザミ）、○サケバヒヨドリ、フジバカマ、キクバヒヨドリ、アキノハハコグサ、ホソバオグルマ、△カセンソウ、ノニガナ、メタカラコウ、○ニシノヤマタイミンガサ、ホクチアザミ、ミヤコアザミ、△ヒメヒゴタイ、△キクアザミ、ハバヤマボクチ、コウリンカ、レンプクソウ、オオキンレイカ、カノコソウ（ハルオミナエシ）、イブキボウフウ

絶滅危惧種（236種）

サイコクヒメコウホネ、ヒツジグサ、オオバウマノスズクサ、ヒメカンアオイ（ヒガシヤマカンアオイ）、キシダマムシグサ（ムロウマムシグサ）、アシウテンナンショウ、ヒロハテンナンショウ、ムサシアブミ、ハナゼキショウ（イワゼキショウ）、アギナシ、ヤナギスブタ、ヤマトウミヒルモ、トチカガミ、▽イトトリゲモ、ミズオオバコ（オオミズオオバコ）、コウガイモ、セキショウモ、コアマモ、アマモ、ツツイトモ、○カタクリ、キバナノアマナ、マメヅタラン、ムギラン、ナツエビネ、ギンラン、ユウシュンラン、キンラン、トケンラン、△ツチアケビ、セキコク（セッコク）、△カキラン、△オニノヤガラ、クロヤツシロラン（ヤツシロラン）、△アケボノシュスラン、ジガバチソウ、○アキタスズムシ（アキタスズムシソウ）、○アオフタバラン、コケイラン、ジンバイソウ、コバノトンボソウ、トキソウ、ヒトツボクロ、ショウキラン、アヤメ、△ユウスゲ（キスゲ）、ノカンゾウ、○タンゴアサツキ、ギョウジャニンニク（エイザンニンニク）、ミズギボウシ（ナガバミズギボウシ）、ミクリ、

ヤマトミクリ、コガマ、クロホシクサ、イトハナビテンツキ、ハリガネスゲ、
ケタガネソウ、イトスゲ、ヒロハノオオタマツリスゲ、ミノボロスゲ、グレーンスゲ、
ホザキマスキサ、シラコスゲ、ヤブスゲ、サトヤマハリスゲ、オオイトスゲ、○ヒゲスゲ、
チャガヤツリ、セイタカハリイ、サギスゲ、△ビロードテンツキ、オオイヌノハナヒゲ、
ヒメホタルイ、フトイ、△タイワンヤマイ、コマツカサススキ、マツカサススキ、
ミヤマヌカボ、コウボウ、ヤマアワ、ヒメノガリヤス、ヒゲノガリヤス、
ヒメアブラススキ、△オガルカヤ、ナルコビエ、ヒロハノドジョウツナギ、
ヌマガヤ (カミススキダレグサ)、ミヤマネズミガヤ、キダチノネズミガヤ、
スズメノコビエ、ハマヒエガエリ、ウキシバ、オオアブラススキ、オニシバ、
ヘビノボラス、アズマイチゲ、セツブンソウ、ミスミソウ (ユキワリソウ)、○ツゲ、
コツゲ、コウヤミズキ (ミヤマトサミズキ)、ヤマシャクヤク、ヤマシロネコノメ、
☆ヤマトチャルメルソウ (オオチャルメルソウ近畿型)、ツメレンゲ、タチモ、コフウロ、
ビッチュウフウロ、ヒメミソハギ、エゾミソハギ、ミズマツバ、オニビシ、ウシタキソウ、
タヌキマメ、マキエハギ、クサフジ、☆△ビワコエビラフジ (エビラフジ)、
カキノハグサ、シモツケソウ、カワラサイコ、ツルキンバイ、バライチゴ、○カジイチゴ、
シモツケ (ヒロハシモツケ)、ヨコグラノキ、ツルコウゾ近似品、△ケグワ、
☆△ノハライラクサ (ホソバイラクサモドキ)、ノグルミ、サクラバハノキ、
ウメバチソウ、タカトウダイ、ハマタカトウダイ、ヒトツバハギ、
ナガバノスミレサイシン、イソスミレ (セナミスミレ)、コミヤマスミレ、アカネスミレ、
アケボノスミレ、ヒナスミレ、キヌヤナギ、
△ヒロハコンロンソウ (ヒロハノコンロンソウ、タデノウミコンロンソウ)、
○コカイタネツケバナ (コタネツケバナ)、コイヌガラシ、
メグスリノキ (チョウジャノキ)、カラスノゴマ、ナニワズ、ヒノキバヤドリギ、
ヤドリギ、ヤナギヌカボ、ナガバノウナギツカミ、ネバリタデ、オオネバリタデ、
ハマナデシコ、タチハコベ、○ツカモトハコベ、オオヤマハコベ、ヤマハコベ、
ハマアカザ、ギンバイソウ、クサレダマ、ウメガサソウ、アカモノ、シャクジョウソウ、
サツキ (サツキツツジ)、クロタキカズラ、ルリミノキ、
△サツマイナモリ (キダチイナモリソウ)、オオキヌタソウ、カギカズラ、フデリンドウ、
イヌセンブリ、ホウライカズラ、スズサイコ、コバノカモメヅル、
シロバナカモメヅル (アズマカモメヅル)、ホタルカズラ、アオイゴケ、マルバノホロシ、
アブノメ、キクガラクサ、シソクサ、△ウンラン、スズメノハコベ (スズメハコベ)、
○トウオオバコ、△ヒヨクソウ、トウテイラン、イヌノフグリ、クガイソウ、
ヒナノウスツボ (ヤマヒナノウスツボ)、オオヒナノウスツボ、ジュウニヒトエ、
マネキグサ、エゾシロネ、セトエゴマ、☆△ニシノタムラソウ (ナツノタムラソウ)、
ヤマジノタツナミソウ、ミヤマナミキ、イブキジャコウソウ、クチナシグサ、
キヨズミウツボ、ヒキヨモギ、ノタヌキモ、イヌタヌキモ、スズムシバナ、○ユキミバナ、

ミヤマウメモドキ、ヤマホタルブクロ、アサザ、ホソバヤマハハコ、エゾゴマナ、
コバナガンクビソウ（バンジンガンクビソウ）、シマカンギク、△イソギク、
キクタニギク（アワコガネギク）、ヒメアザミ（ヒメヤマアザミ）、スイラン、
ハンカイソウ、オオモミジガサ（トサノモミジガサ）、タイミンガサ、
○ナガバノコウヤボウキ、△クルマバハグマ、カシワバハグマ、フクオウソウ、
▽アオヤギバナ、○ハチジョウナ、○キビシロタンポポ、ヤマザトタンポポ、
クシバタンポポ、オカオグルマ、△ケヤマウコギ（オニウコギ）、△ミヤマウコギ、
○トチバニンジン、○ソウシショウニンジン、ヤマゼリ、
カワラボウフウ（シラカワボウフウ、ヤマニンジン）

準絶滅危惧種（176種）

マツブサ、ウマノスズクサ、コブシ、ウラシマソウ、コウキクサ、ヘラオモダカ、
ウリカワ、シライトソウ、コショウショウジョウバカマ（ツクシショウジョウバカマ）、
ツクバネソウ、ヤマカシュウ（ヤマガシュウ、サイカチバラ）、マルバサンキライ、
カヤラン、ノハナショウブ、カキツバタ、ナツズイセン、イワギボウシ、
オヒガンギボウシ、ユキザサ、ハナミョウガ、ハナビゼキショウ、
ハリコウガイゼキショウ、ウキヤガラ、
ナガミショウジョウスゲ（ナガミノショウジョウスゲ）、カンサイイワスゲ、
オニスゲ（ミクリスゲ）、タニガワスゲ、ヤマアゼスゲ、アオバスゲ、ヤガミスゲ、
ホシナシゴウソ、ヌカスゲ、ミコシガヤ、ヒメゴウソ（アオゴウソ）、コカンスゲ、
イヌクグ、アオガヤツリ（オオタマガヤツリ）、シロガヤツリ、○ヤリハリイ、シカクイ、
ノテンツキ（ヒラテンツキ）、ヒンジガヤツリ、イヌノハナヒゲ、ヒメコヌカグサ、
スズメガヤ、オオニワホコリ、○ウシノケグサ、ムツオレグサ（ミノゴメ）、
マンゴクドジョウツナギ、ウシノシッペイ、ミノボロ、アシカキ、トウササクサ、
イブキヌカボ、○タツノヒゲ、アイアシ、ウシクサ、イヌアワ、キケマン、
コウモリカズラ、ルイヨウボタン、タンナトリカブト、ユキワリイチゲ（ウラベニイチゲ）、
キクザキイチゲ（キクザキイチリンソウ）、イヌショウマ、△サラシナショウマ、
クサボタン、トリガタハンショウヅル、トウゴクサバノオ、
チシマネコノメ（チシマネコノメソウ、ミチノクネコノメ）、イワボタン（広義）、
コガネネコノメソウ（オオコガネネコノメソウ）、ジンジソウ、ハルユキノシタ、
ミツバベンケイ（ミツバベンケイソウ）、キリンソウ、ホザキノフサモ（キンギョモ）、
フジキ、マルバヌスビトハギ、サイカチ（カワラフジノキ）、ミソナオシ、
ナンテンハギ（フタバハギ）、ヤマフジ、ヤマブキショウマ、ズミ（コリンゴ、コナシ）、
オオウラジロノキ、ツルキジムシロ、エチゴツルキジムシロ、○モリイバラ、ハマナス、
ヤマイバラ、クロウメモドキ、コバノショウセンエノキ、キミズ、▽ミヤコミズ、
ドクウツギ（イチロベゴロシ）、カシワ、ミズメ、▽ムラサキマユミ、エゾタチカタバミ、

ノウルシ、イヌミヅハコベ、ミズオトギリ、ヒゴスミレ、フモトスミレ、ミズタガラシ、イヌナズナ、ユリワサビ、○オオユリワサビ、ミツデカエデ、カジカエデ (オニモミジ)、ヒノウチワカエデ、コショウノキ、カラスシキミ、オニシバリ (ナツボウズ)、コガンピ、キガンピ (キコガンピ)、カナビキソウ、マツグミ、オオイタドリ、サデクサ、リュウキュウマメガキ (シナノガキ)、ギンレイカ (ギンレイソウ、ミヤマタゴボウ)、サラサドウダン、ベニドウダン、ヒカゲツツジ、レンゲツツジ、オオヤマムグラ (オヤマムグラ)、コケリンドウ、ケテイカカズラ、タチカモメヅル、スナビキソウ、ハシリドコロ、ヤマトアオダモ、▽サワトウガラシ、カワヂシャ、フジウツギ、カワミドリ、ジャコウソウ、フトボナギナタコウジュ、ハッカ、タジマタムラソウ、ミゾコウジュ、○ヒメナミキ、ホクリクタツナミソウ、イガタツナミソウ (イガタツナミ)、シソバタツナミ、○デワノタツナミソウ、ナミキソウ、カリガネソウ、オオナンバンギセル、ハマウツボ、コシオガマ、オオヒキヨモギ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、オギノツメ、クマツヅラ、ソバナ、サワギキョウ、○モミジハグマ、△オクモミジハグマ (オクノモミジハグマ)、サワシロギク、ワカサハマギク、○タンバアザミ、▽オグルマ、コウグイスカグラ、ナベナ、オミナエシ、ハナビゼリ、○サンインヨロイグサ、ドクゼリ、セリモドキ (タニセリモドキ)、ムカゴニンジン、カノツメソウ (ダケゼリ)、ヒカゲミツバ

要注目種 (78種)

ヒメクロモジ、▽オオハンゲ、クロモ、オヒルムシロ、リュウノヒゲモ、バイケイソウ、タマガワホトトギス、エビネ、タシロラン、アキザキヤツシロラン、スズムシソウ、コクラン、ニッコウキスゲ (ゼンテイカ)、アサツキ、シロウマアサツキ、オオキツネノカミソリ、コヤブラン (リュウキュウヤブラン)、ノシラン、ホシクサ、クロアブラガヤ、マツバスゲ、ヤマジスゲ、キノクニスゲ (キシユウスゲ)、ノゲヌカスゲ、ビロードスゲ (ビロウドスゲ)、○アイノコシラスゲ、○コミヤマカンスゲ、オオクグ、フサナキリスゲ、ヒトモトススキ、ツルナシコアザガヤツリ、オオシロガヤツリ、○エゾハリイ、サンカクイ、トキワススキ、メガルカヤ、シバ、イカリソウ、イブキトリカブト (キタヤマブシ)、ヒュウガミズキ、ボタンネノコノメソウ、モミジチャルメルソウ、ヤマブドウ、ミズユキノシタ、ハマナタマメ、ニワフジ (イワフジ)、カラメドハギ、ナニワイバラ、ヨサノハゴロモナナカマド、ミツバイワガサ (タンゴイワガサ)、ユキヤナギ、キカラスウリ、ウバメガシ、シラヒゲソウ、エゾイタヤ、オオイタヤメイゲツ、フユザンショウ、サトヤマタデ、エゾカワラナデシコ、マルバウツギ、▽クリンソウ、ハクウンボク、ウラジロハナヒリノキ (コシノハナヒリノキ)、リンドウ、センブリ、キジョラン、○ヤナギフナバラ、ゲンバイヒルガオ、テンニンソウ、ナンバンギセル、

ミツガシワ、オカダイコン、オオヨモギ（ヤマヨモギ）、エゾノキツネアザミ、
ミツバヒヨドリ、ネコノシタ、○ケンサキタンポポ、○オオクシバタンポポ

※リスト外に移行した種（6種）

オオズミ、ホソバイラクサ、ヒメシャラ、オオバヨメナ、ホソバニガナ、
タンゴボウキ（新称）